

# 階上ドレンバルブ BH-D/BH-DS/MD/MD-S

## 工事店様用

## 施工説明書

公益社団法人日本水道協会品質認証センター認証登録品

■この度は、階上ドレンバルブをお求めいただき、まことにありがとうございます。この施工説明書をよくお読みいただき正しく施工して下さい。

■本製品は、排水ハンドルを操作することにより、配管内の水を抜き、凍結を防止する器具です。

■取扱説明書に貴店名を明記の上、お客様にお渡し下さい。



施工取扱説明書の記載内容および製品の仕様は、品質改良のため予告なしに変更する場合があります。

### 安全上のご注意




ここに示した警告および注意は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、内容をよく理解して正しく施工して下さい。

#### ■安全表示について

危害、損害の程度を警告・注意に分けて表示しています。

 <b>警告</b>	人が死亡する、または重傷を負う恐れがあることを示します。
 <b>注意</b>	火傷やけがを負う恐れや物的損害が発生する恐れがあることを示します。

#### 図記号の種類と意味

 <b>してはいけないこと。(行為の禁止)</b>
 <b>注意すること。(注意の喚起)</b>
 <b>必ず行うこと。(行為の強制・指示)</b>

#### ⚠ 注意

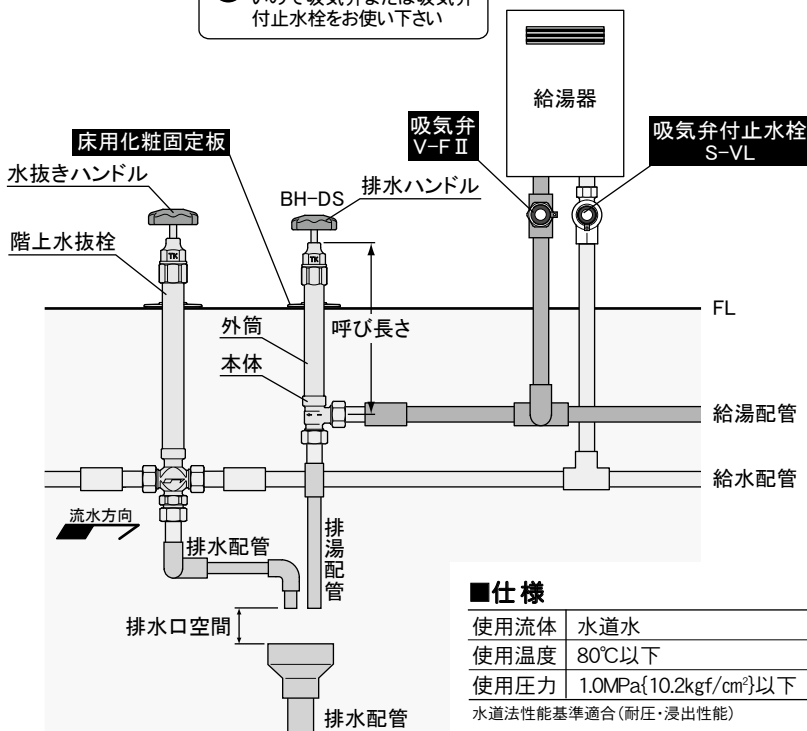
- 器具を分解しないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
  - 落下等による衝撃を与えないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
  - 火気や熱源を近づけないで下さい。部品の劣化や変形により、作動不良の原因になります。
  - 保護キャップは配管直前まではずさないで下さい。異物が混入し、作動不良の原因になります。
  - 器具を横・下向きに取り付けしないで下さい。誤って取り付けると作動不良や漏水の原因になります。
  - 勾配不足は、避けて下さい。このような配管によって水が抜けにくく凍結・破損し、漏水の恐れがあります。
  - 寒冷地仕様以外の水栓は使用しないで下さい。寒冷地仕様以外の水栓は、開栓しても配管内に空気が入らず水が抜けないため、凍結・破損し、漏水の恐れがあります。
  - ベンジン・シンナー・トルエン等の有機溶剤入りの洗剤は使用しないで下さい。塗装が剥がれたり、印刷が消えたり、部品が溶ける恐れがあります。
- 
- 給水用の水抜栓または止水栓とセットでご使用下さい。単独で使用すると漏水の原因になります。
  - 作業時は保護具を使用して下さい。けがをする恐れがあります。
  - 管軸に対して操作部を垂直・上向きに施工して下さい。作動不良の原因になります。
  - 鳥居・U字配管のできるだけ低い位置に施工して下さい。水が抜けにくく凍結・破損し、漏水の恐れがあります。
  - 凍結の恐れのある場所に施工する場合は、本体に凍結防止措置を講じて下さい。器具の破損や作動不良の恐れがあります。
  - 排水配管は、逆流防止措置を講じて下さい。逆流を防止しないと、排水が逆流する恐れがあります。
  - 接続は、本体の矢印方向と配管の流水方向を合わせて下さい。方向が合っていないと凍結・破損し、漏水の恐れがあります。
  - 排水ハンドルが確実に回せる空間を確保して下さい。排水ハンドルが確実に回せない、凍結・破損し、漏水の恐れがあります。
  - 施工前、配管接続部の清掃をおこない砂・ゴミ等の異物を排出して下さい。異物によって損傷・破損し、漏水の恐れがあります。
  - 施工後、配管内の洗浄をおこない砂・ゴミ等の異物を排出して下さい。異物によって損傷・破損し、漏水の恐れがあります。
  - 弁室内に施工する場合は、ハンドル操作が容易にできる空間を確保して下さい。
  - 床下に施工する場合は必ず付近に点検口を設けて下さい。メンテナンスが困難になります。
  - 仕様の範囲外でお使い下さい。範囲外での使用は、器具の破損や性能劣化等の恐れがあります。

TAKEMURA

## BH-DS施工例と各部名称

オプション

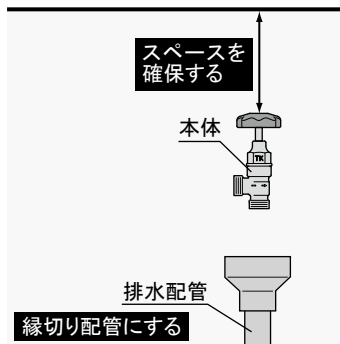
給湯器まわりは水栓金具を開けても空気が吸入されないため吸気弁または吸気弁付止水栓をお使い下さい



## 施工方法

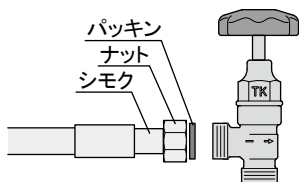
### 1. 配管前に…

- ①メンテナンスのため、排水ハンドル上部にノズル式(内部構造)が抜き出せる場所を選んで下さい。
- ②凍結の恐れがある場所に設置する場合は、本体を保温して下さい。
- ③排水配管は、排水口空間を設けた縁切り配管にして下さい。



## 2. 給水配管との接続

- ①製品に付属しているシモク・ナット、パッキンをはずします。
- ②シモク・ナットを配管に取り付けます。
- ③本体の流水方向を確認して、ナットにパッキンを入れ工具を使って締め付け、接続します。



給水配管接続：平行おねじ

- ❗ 流水方向を確認する
- ❗ 配管接続部を清掃する

## 3. 排水配管との接続

- ①シモク・ナットを排水配管に取り付けます。
- ②ナットにパッキンを入れ工具を使って締め付け、接続します。

❗ 配管接続部を清掃する

排水配管接続：平行おねじ

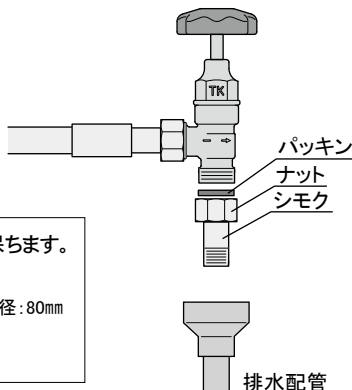
### ■オプション

BH-DS/MD-Sを施工の際に、外筒を固定し、美観を保ちます。



床用化粧固定板

セット品：木ネジ×4  
取り付け穴の中心を結ぶ円の直径：80mm  
材質：PC(メッキ)

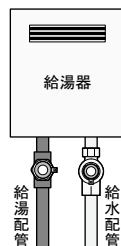


## 4. 吸気弁または吸気弁付止水栓の取り付け

- ①給湯器配管は、水栓金具(蛇口等)を開けても空気が吸入されず、水が抜けません。必ず吸気弁・吸気弁付止水栓を取り付けて下さい。
- ②各立上り管のできるだけ高い位置に吸気弁・吸気弁付止水栓を取り付けます。壁中配管の場合は、吸気弁が必ず壁外に出る施工をして下さい。

⚠ 注意

吸気弁を付けても吸気弁より先の配管や給湯器内の水は、配管条件等により抜けない場合があります



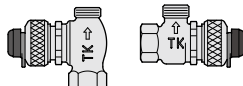
(例 V-F II / S-VL 給湯器接続)

### ■オプション

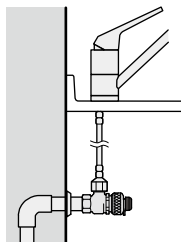
水抜き操作で、自動的に空気が吸入されます。



吸気弁 V-F II



吸気弁付止水栓  
S-VL S-VA



(例 S-VA台所用混合栓接続)

## 洗管と作動確認

### ■洗管

施工後、水栓金具(蛇口等)を全開にし、水を流して配管の洗浄をおこなって下さい。

### ■作動確認

洗管後、排水ハンドルを操作して水が抜ける(排水する)ことを確認して下さい。

## 操作方法

### ■水抜き操作(凍結防止)

- ①不凍水抜き栓の水抜きハンドルを“水抜”方向(右回りに止まるまで回します。
- ②ドレンバルブの排水ハンドルを“水抜”方向(左回りに止まるまで回します。
- ③水栓金具(蛇口等)を開けます。(水が抜けます)  
※シングルレバー混合栓の場合、レバーを中央位置にしてから開けて下さい。

❗ 空気を吸入しないと水は抜けません

- ④水抜きが終わったら、水栓金具を閉めます。

### ■通水操作

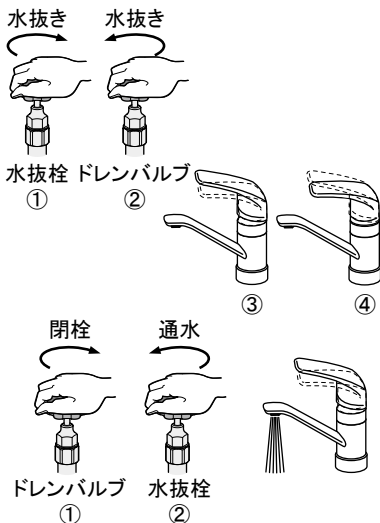
❗ 水栓金具(蛇口等)が閉じていること

- ①ドレンバルブの排水ハンドルを“閉栓”方向(右回りに止まるまで回します。
- ②不凍水抜き栓の水抜きハンドルを“通水”方向(左回りに止まるまで回します。(通水状態になります)  
※水栓金具(蛇口等)を操作してお使い下さい。

⚠ 注意

通水操作直後は水栓金具(蛇口等)から水が飛び散ることがあります

❗ ドレンバルブだけで操作しない



## お問い合わせ先

■お問い合わせのときには最寄の支店・営業所まで次のことをお知らせ下さい。

- ・製品名
- ・施工日
- ・詳しい状況、内容
- ・氏名、住所、電話番号
- ・その他、お気づきになられたこと

# 株式会社 外村製作所

支店・営業所/札幌・青森・秋田・盛岡・山形・仙台・福島・北関東・新潟・長野・甲府  
ホームページアドレス <https://www.takemura-ss.com>

お客様ご相談窓口

フリーダイヤル

0120-107210

月～金 AM9:00～12:00 PM1:00～5:00